

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

目次	
安全上のご注意 1頁
■施工上のご注意 1頁
■使用上のご注意 2頁
■管理者向けのご注意 2頁
■其他のご注意 3頁
■各部の名称 3頁
■インフォメーション部 4頁
■仕様 5頁
■外形寸法 5頁
施工	
■設置場所・施工に関するご注意 6頁
■周囲隔離 6頁
■電気構成 7頁
■付属品 7頁
■施工者様にご用意いただくもの 8頁
施工方法	
■施工方法 8頁
使用・取扱	
■利用方法 14頁
■故障かな?と思ったら 15頁
■お手入れのしかた 15頁
■日常点検・定期点検 16頁
管理者向け	
■充電電流上限値の変更 17頁
■非常モード 19頁
■MODE1車両への充電 20頁
お問合わせ先 20頁

安全上のご注意 安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

■施工上のご注意

警告				
	<p>通電時の端子部には触れないでください。感電するおそれがあります。</p> <p>可燃性ガス、腐食性ガス、じんあい、引火物の近く、塩分による汚染、および著しい騒音や振動が発生する場所に設置しないでください。感電、火災、故障の原因となります。</p>			
	<p>本取扱説明書に明記されている端子ねじは適正締め付トルクの範囲内で締め付けてください。締め付けトルクが適正でない場合、発熱・火災・感電の原因や製品の破損につながるおそれがあります。また、定期的に適正締め付トルクで締め付けられていることを確認してください。ねじがゆるんでいると発熱・火災の原因となります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">端子ねじ</td> <td style="text-align: center;">適正締め付トルク N・m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">端子台</td> <td style="text-align: center;">2.0~2.4</td> </tr> </table>	端子ねじ	適正締め付トルク N・m	端子台
端子ねじ	適正締め付トルク N・m			
端子台	2.0~2.4			
	<p>施工時に取り外した端子カバー等は必ず元の位置に戻してください。感電や短絡による事故のおそれがあります。</p> <p>電源線を配線する際は、必ず分電盤に専用回路を設け、給電元に高速高感度形(0.1sec 15mA)の漏電ブレーカを設置してください。</p> <p>必ず接地工事(D種)をしてください。感電、動作不良のおそれがあります。</p> <p>車両が通るところに設置する場合は、必ず防護柵や車止めなどを設置して、車両と衝突しないようにしてください。破損し、事故につながるおそれがあります。</p> <p>単相AC200V電源専用です。</p> <p>定格容量を守って施工してください。感電、火災のおそれがあります。</p>			

注意	
	<p>工事作業中は、手袋などの保護具を着用してください。けがをする原因となります。</p>
	<p>運搬、設置の際は、周囲の安全を十分確認してください。落下、転倒によるけがの原因となります。</p>

⚠ 注意

<p>取付作業が難しい場合は、二人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。</p>	<p>線間の絶縁抵抗測定は、製品から配線を外して配線を測定してください。配線を外さずに測定すると破損のおそれがあります。対地間の絶縁抵抗測定は、製品に配線を接続して 250V以下で測定してください。500V以上の測定は破損のおそれがあります。</p>	<p>下記表の部品は適正締め付トルクの範囲内で締め付けしてください。締め付けトルクが適正でない場合、破損・落下、所定のIP性能が得られないおそれがあります。また、定期的に適正締め付トルクで締め付けられていることを確認してください。ねじがゆるんでいると破損・落下、所定のIP性能が得られないおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">部品</th> <th style="text-align: center;">適正締め付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">カバー取付ねじ</td> <td style="text-align: center;">1.5~2.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ロックナット</td> <td style="text-align: center;">2.4~3.4</td> </tr> </tbody> </table>	部品	適正締め付トルク N・m	カバー取付ねじ	1.5~2.0	ロックナット	2.4~3.4
部品	適正締め付トルク N・m							
カバー取付ねじ	1.5~2.0							
ロックナット	2.4~3.4							

■使用上のご注意

⚠ 警告

<p>定期点検のときは本製品に電気を供給している給電元ブレーカを必ずOFFにしてください。感電するおそれがあります。</p>	<p>分解・改造は絶対に行わないでください。感電や火災の原因となります。</p>	<p>充電コネクタを使用しない場合は、コネクタホルダーに戻してください。故障のおそれがあります。</p>
<p>国外では使用しないでください。日本国内専用です。故障のおそれがあります。</p>	<p>電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電用途以外で使用しないでください。故障のおそれがあります。</p>	<p>充電コネクタ端子部をぬらさないでください。感電のおそれがあります。</p>
<p>充電コネクタはぬれた手で使用しないでください。感電のおそれがあります。</p>	<p>充電ケーブルに無理な力を加えないでください。充電ケーブルが断線するおそれがあります。</p>	<p>充電ケーブルにねじれが生じた場合は、無理に引っ張らず、ねじれを解消させてから使用してください。充電ケーブルが断線するおそれがあります。</p>
<p>こどもだけで充電作業を行わないようにしてください。けが・感電の原因となります。</p>	<p>強い衝撃を与えないでください。感電・火災・故障の原因となります。</p>	<p>破損した充電コネクタ、充電ケーブルは使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。破損した場合は、「お問い合わせ先」(20頁)までご連絡ください。</p>
		<p>植込み型心臓ペースメーカー及び植込み型除細動器(ICD)をお使いの方は、充電器本体部からの電波が作動に影響を与えるおそれがありますので、充電中は密着するような姿勢はとらないでください。</p>

⚠ 注意

<p>直射日光により、表面が高温になるおそれがあります。炎天下での使用の際はご注意ください。</p>	<p>充電コネクタはロック解除ボタンを押してからゆっくり抜いてください。破損のおそれがあります。</p>	<p>冠水など製品内部が濡れた場合は使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
<p>上に乗ったり、もたれたりしないでください。破損し、事故につながるおそれがあります。</p>	<p>異臭、発熱、変色など異常が現れた場合は、直ちに使用を中止し施工業者までご連絡ください。</p>	<p>布や、布団、衣服などで覆わないでください。故障の原因となります。</p>
		<p>本製品をご利用の前に車両の取扱説明書をご確認ください。</p>

■管理者向けのご注意

⚠ 警告

<p>充電器の管理は有資格者が行ってください。故障・感電・怪我の原因になります。</p>	<p>通電時の端子部には触れないでください。感電するおそれがあります。</p>
--	---

■その他のご注意

●ご使用に関する注意事項

- ・本製品には、車両の充電量や充電時間を表示する機能はありません。車両の取扱説明書をご確認ください。
- ・製品の状態表示にLEDランプを使用しています。輝度、色合いは使用環境温度により変動することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・充電コネクタは抜き挿し回数約1万回で交換が必要です。ただし、使用条件、使用場所で異なります。異常や不具合がありましたら、「お問い合わせ先」(20頁)までご連絡ください。
- ・充電コネクタ端子部に異物やほこりが付着した場合、エアスプレー等で除去してください。
- ・積雪時は除雪してください。
- ・清掃方法については「お手入れのしかた」(15頁)をご確認ください。
- ・製品に貼付してあるシリアルラベル (Serial No.とProduct Codeの記載ラベル)をはがしたり、汚したりしないでください。
- ・植栽などの土がかからないようにしてください。

●通信モデルについて (品名記号 : EVP3GJT60)

- ・通信機能は無線 (4G) を利用しているため、電波の弱いところではご利用になれないことがあります。周囲の環境の変化 (高層ビルの建設など) により電波が入らなくなることもありますのでご注意ください。

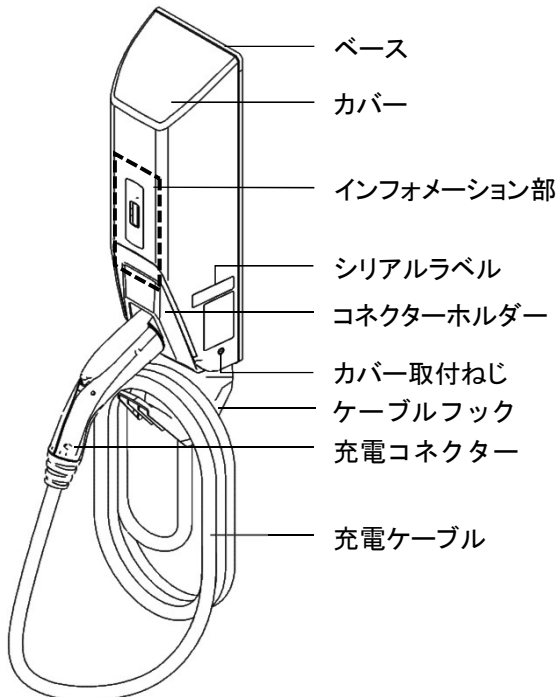
- ・本製品はマルチキャリアに対応しています。
マルチキャリア: 主な携帯通信キャリアの中から最も電波状況の良いものを自動で選んで通信をします。

通信サービスの不具合またはデータセンターの障害に起因して、お客様またはその他の第三者に生じた損害については弊社は
その賠償等の責を負いません。

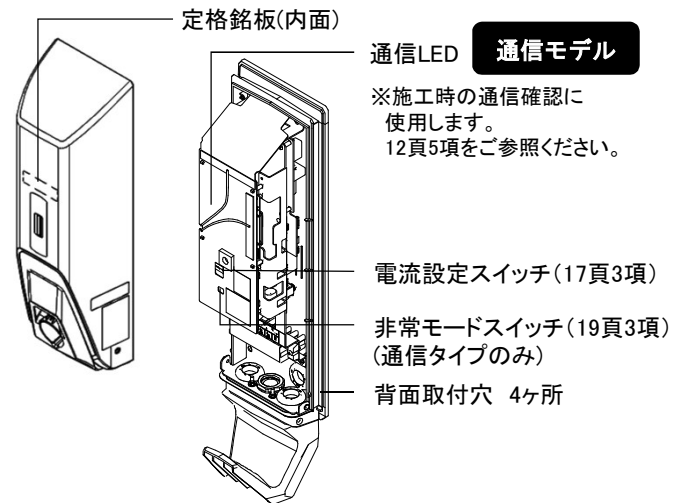
■各部の名称

本説明書では「EVP3GJT60」の図を使用して説明しています。

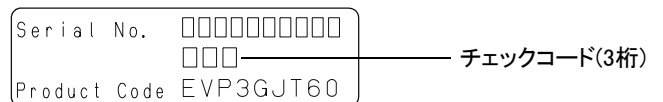
本体



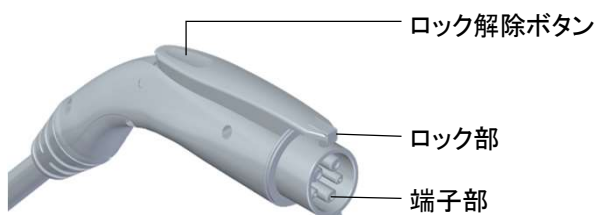
<カバーを開けた状態>



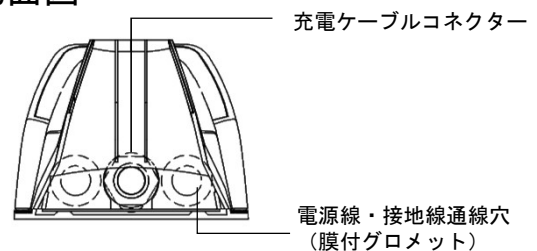
<シリアルラベルの詳細>



充電コネクタ一部詳細



底面図



ご注意

製品に貼付してあるシリアルラベル (Serial No.とProduct Codeの記載ラベル)をはがしたり、汚したりしないでください。
はがれたり、汚れて読み取れなくなった場合は「お問い合わせ先」(20頁)に連絡ください。

■インフォメーション部



- READYランプ（青） …… 製品が利用可能かを表します。
通信モデルでは、電源が入っていても利用制限されている場合には消灯し、利用できません。
- CHARGEランプ（橙） …… 充電中かを表します。
- ERRORランプ（赤） …… 製品がエラーを検出しているかを表します。
- POWERランプ（緑） …… 製品に電源が供給されているかを表します。

インフォメーション部の見かた

ランプの表示			
状況	製品が利用可能	充電中	満充電 (車両に充電コネクタが接続された状態で充電が止まっている)

ランプの表示		<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;">通信モデル (アンテナあり)</div>		
状況	製品に電源が供給されていない (15頁参照)	製品に電源が供給されているが利用できない ※管理者によって利用制限がかけられています (15頁参照)	電源起動中 またはファームウェア更新中 (通信モデル) ※電源をOFFしないでください。 点滅が30分以上続く場合は 「お問合わせ先」(20頁) までご連絡ください。	製品がエラーを検出している (15頁参照)

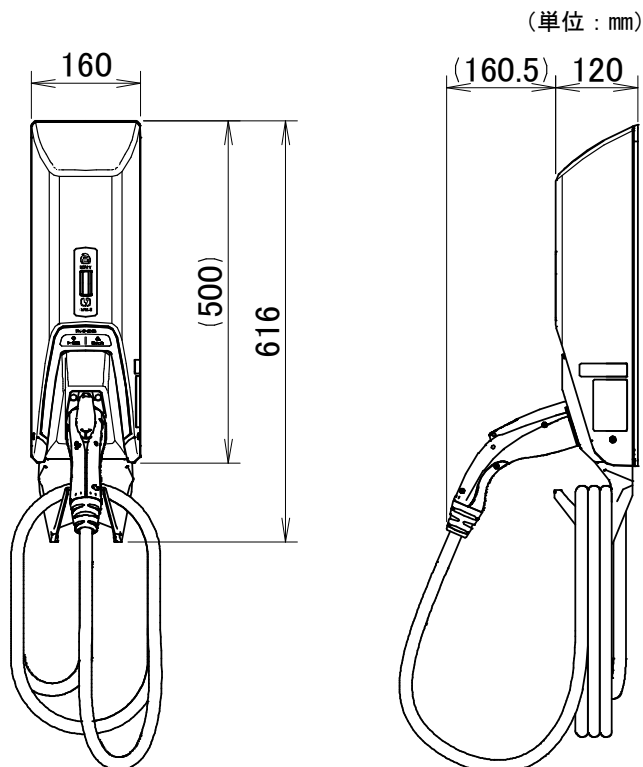
■仕様

品名記号	EVP3GJT60N	EVP3GJS60N
通信機能	あり	なし
定格電圧	単相AC200V	
定格周波数	50/60Hz	
連続使用定格電流	30A	
出力電力	6.0kW	
待機電力	6W以下	3W以下
外形寸法(W×H×D)	160mm×616mm×120mm	
充電ケーブル太さ外径	18.5mm	
保護性能	IP44(充電コネクタ一部・底面通線部は除く)	
設置環境	屋内および屋外	
	(標高2000m以下)	
使用温度範囲	-20℃～+40℃ (24時間の平均値35℃を超えないこと)	

●設置場所は下記条件でご使用ください。

- ・周囲の空気の高湿、多湿、じんあい、煙、腐食性または可燃性の気体・蒸気、塩分による汚染、および著しい騒音や振動が発生しない場所。
- ・氷雪によりカバーの開閉に影響が出ない場所。
- ・階段、非常口などの付近で避難の支障にならない場所。

■外形寸法



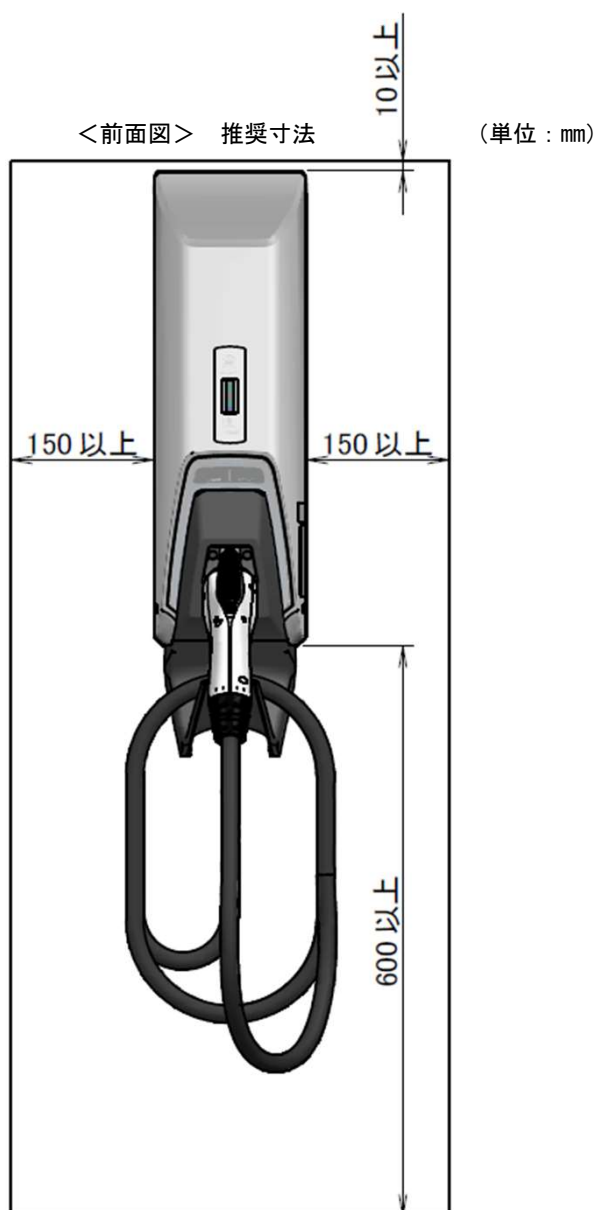
■ケーブル長さ と 製品質量

ケーブル長	5m	約6.5kg
	7m	約7.5kg
	10m	約9kg

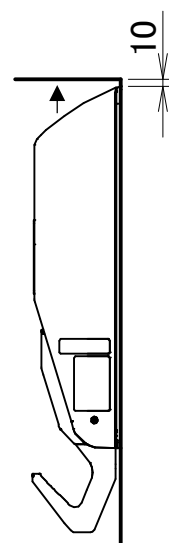
■設置場所・施工に関するご注意

- ・充電コネクタが車両に無理なく接続できる場所に、設置してください。
- ・ぶつかったり、つまずいたり、通行などの妨げにならないよう周囲の状況に十分配慮して設置してください。
- ・設置面との間に、異物を挟まないように注意してください。
- ・強い衝撃を与えないでください。感電・火災・故障の原因となります。
- ・電源線、可とう管等は電気定格を確認した上、設置環境に応じ適切なものを選定してください。
- ・内部配線に干渉しないように電線を収納してください。
- ・電源線は、張力のかからないように余裕を持って配線してください。
- ・配線口は配線作業終了後、水の侵入の無いよう完全にふさいでください。
- ・保守、点検のために製品周囲にスペースを開けて設置してください。
- ・通信タイプの場合は、携帯電話などで4Gの電波圏内であることを設置前に確認してください。

■周囲離隔



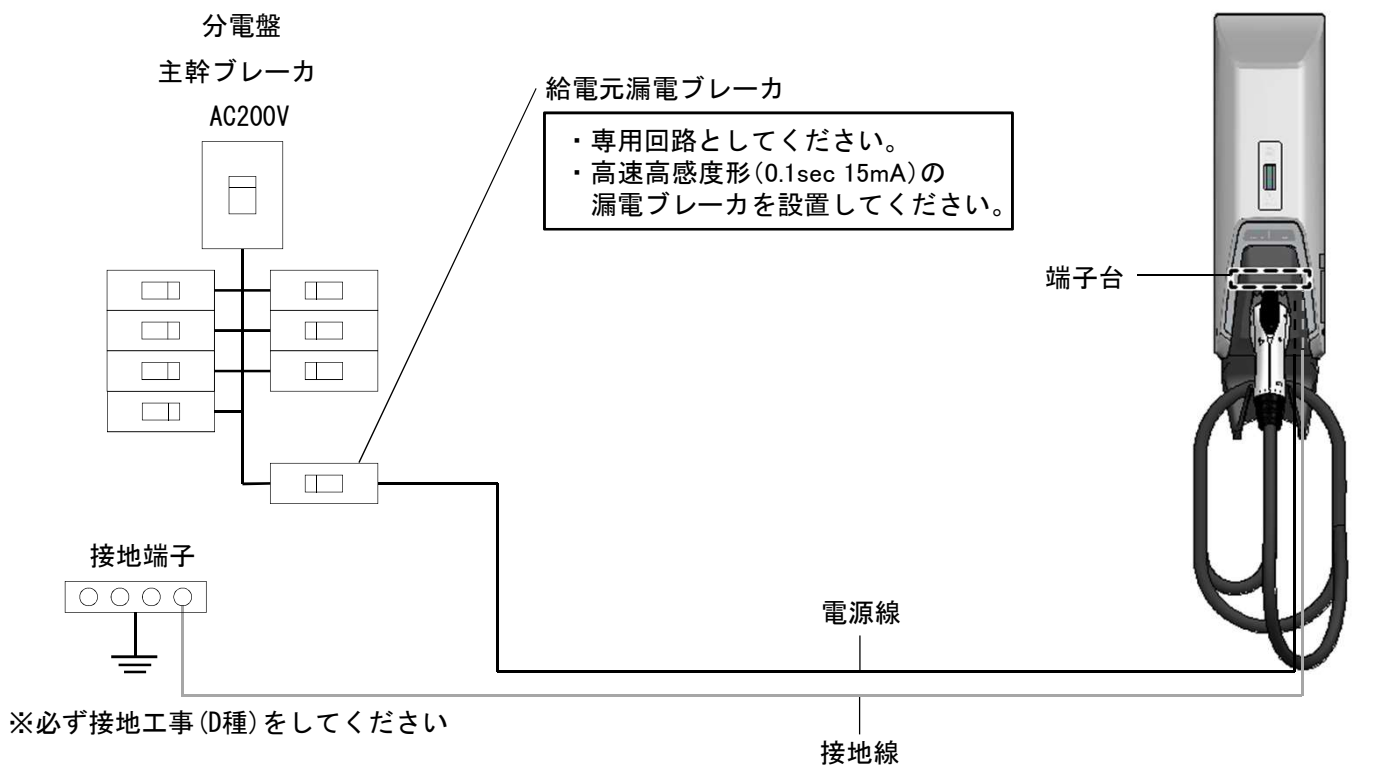
<側面図> (単位: mm)



カバーを取り外す際に上に約10mmほどのスペースが必要です

■電気構成




●配線例



●電気的特性

品名記号	EVP3GJT60N	EVP3GJS60N
通信機能	あり	なし
出力電力	6.0kW	
給電元漏電ブレーカ	推奨定格電流	40A
	動作時間 / 感度電流	0.1sec / 15mA
電源線の推奨サイズ	より線: 8mm ²	
接地線の推奨サイズ	より線: 3.5mm ² 以上	

■付属品

操作ラベル 	取扱説明書 (本紙)/ 有償サービス案内  有償サービス案内 取扱説明書	充電ケーブル セット (丸形圧着 端子付) 	本体取付用 防水ワッシャー (穴径φ5) 	L型レンチ ※ 
1枚	1部	1コ	4コ	1コ

※付属のL型レンチは開梱後にカバーを取り外す時にご使用ください。

カバーを取り付ける時には別途ご用意いただいた工具(8頁に記載)にて適正締付トルクで締付けてください。

付属のL型レンチでは、締め付けすぎ、締め付け不十分となるおそれがあります。

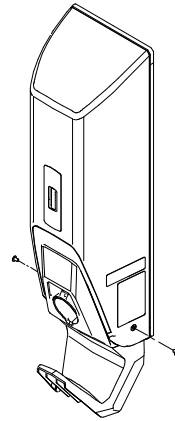
■施工者様にご用意いただくもの

本体取付ねじ	呼び5またはM5(ステンレス製推奨)×4コ ※取り付ける先の壁面を考慮した適切なものをご用意ください。 自立スタンドに取り付けする場合は自立スタンドに付属しているねじをお使いください。
電源線および接地線	×3本(推奨電線サイズは7頁●電気的特性参照)
ヘキサロビュラ穴用ドライバー(サイズ:T20H)	カバーの取付ねじ(ヘキサビュラ穴いじり防止ねじ No.20)を締め付けが可能なヘキサロビュラ穴用ドライバーをご用意ください。

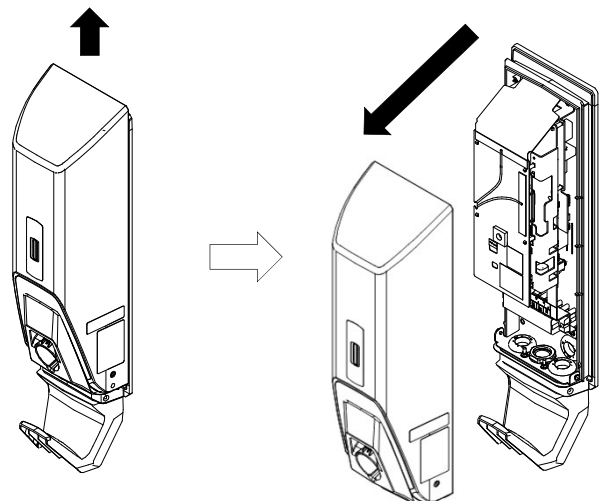
■施工方法

1. 充電ケーブルの接続

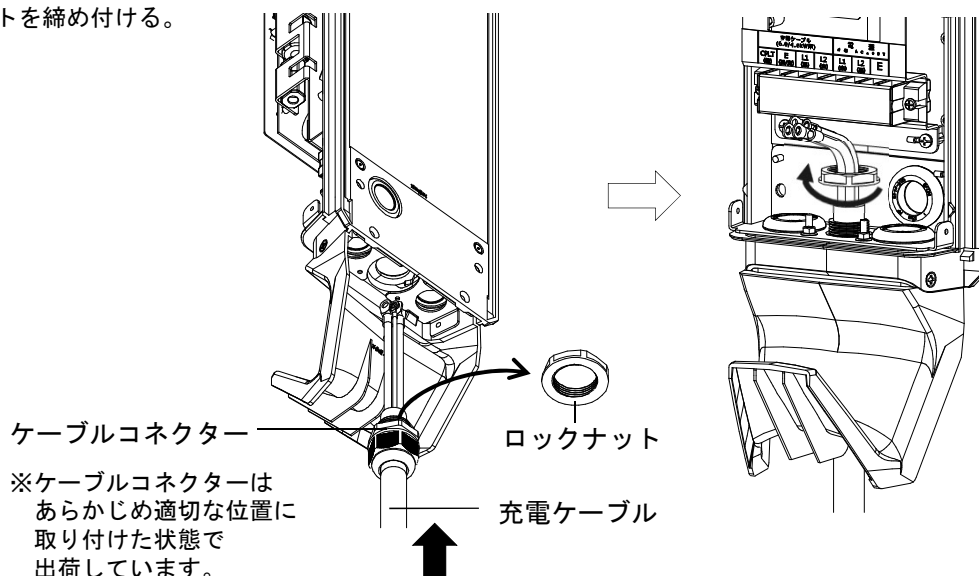
- ① 左右側面のカバー取付ねじを付属のL型レンチで取り外す。



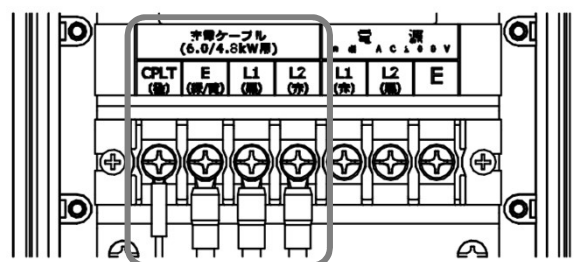
- ② カバーを約10mmほど上に持ち上げ、手前に引いて取り外す。



- ③ 充電ケーブルを取り付ける。
 ロックナットを取り外し、製品の下部中央の穴から充電ケーブルを通し、ロックナットを締め付ける。
 (適正締め付トルク : 2.4~3.4 N・m)



- ④ 端子台カバーを取り外し、充電ケーブルの電線色とラベルに記載がある色が合うように接続し、端子ねじ (M5) を指定の締め付トルクで締め付ける。
 (適正締め付トルク : 2.0~2.4 N・m)



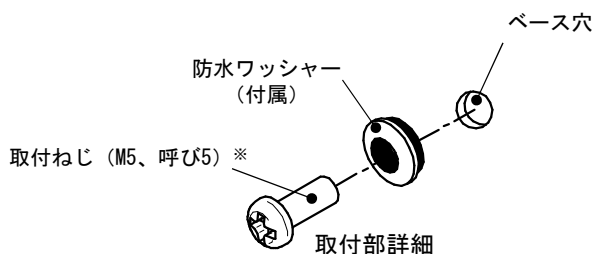
ご注意

隣の端子と接触しないよう端子台に対して、真っすぐに配線してください。

2. 壁面への取り付け

- ① 給電元の漏電ブレーカの「OFF」を確認する。
- ② 壁面へ取り付ける。

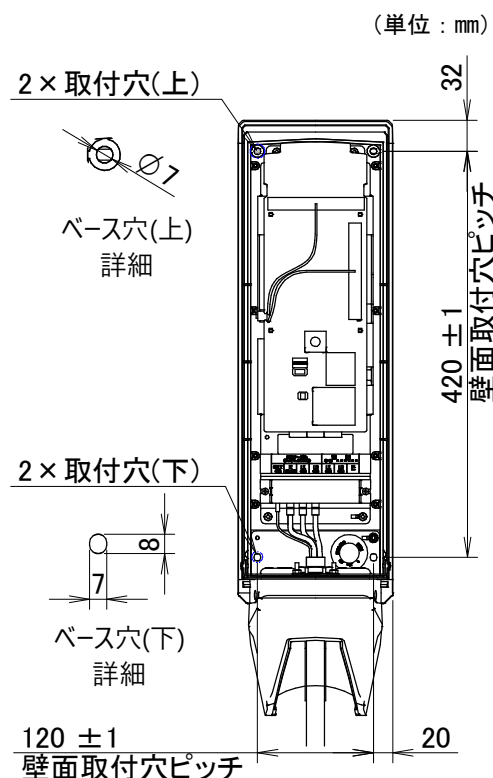
下図の寸法を参考に壁面にベースを取り付ける。
 付属の防水ワッシャーと壁面を考慮した適切なねじで取り付ける。



※取付ねじ (4コ) は壁面を考慮した適切なものを別途ご用意ください。

ご注意

製品の使用時において、壁面に負荷がかかることが想定されるため、堅ろうな壁に取り付けてください。段差のある壁面に取り付けしないでください。

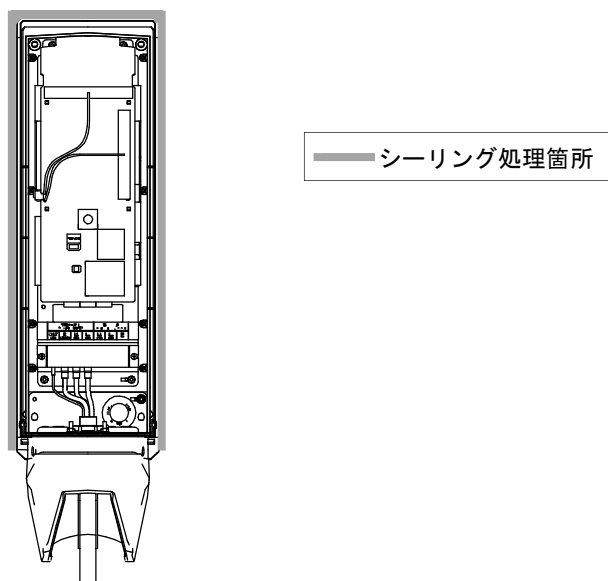


施工

- ③ 必要に応じて、ボディーと壁面の間を、変性シリコンシールなどを使用して適切なシーリング処理を行う。

ご注意

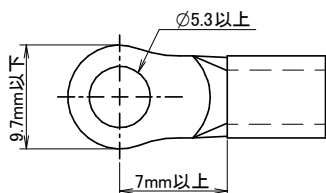
シーリング処理は図示の3辺に行ってください。底部までシーリング処理を行うと、壁材側の湿気が排出されにくくなります。



3. 電源線の接続

- ① 電源線・接地線を接続する。
 製品下側のグロメット1またはグロメット2のいずれかより電源線・接地線を入線する。端子台のラベルに記載がある位置に接続し、端子ねじを指定の締めトルクで締め付ける。
 (適正締めトルク：端子台 2.0~2.4N・m)
 端子台カバーを元に戻す。

電源線・接地線の端子サイズは下記のものを使用する。

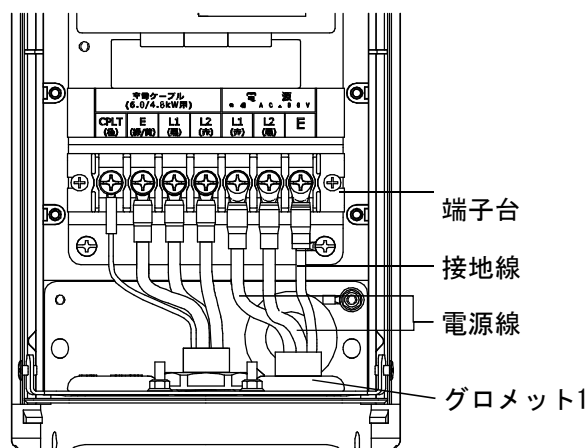


施工者様ご用意品

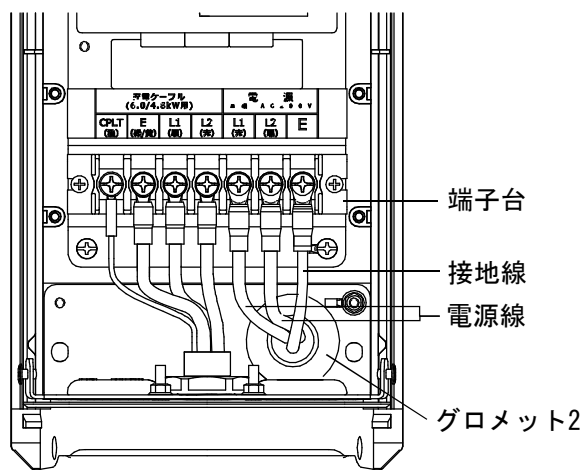
推奨圧着端子	
電源線	R8-5N (NTM) 8-5NS (JST)
接地線	R3.5-5~R5.5-5 ※8mm ² は、R8-5N (NTM) 8-5NS (JST)

ご注意

隣の端子と接触しないよう端子台に対して、真っすぐに配線してください。



(例：グロメット1から配線した場合)



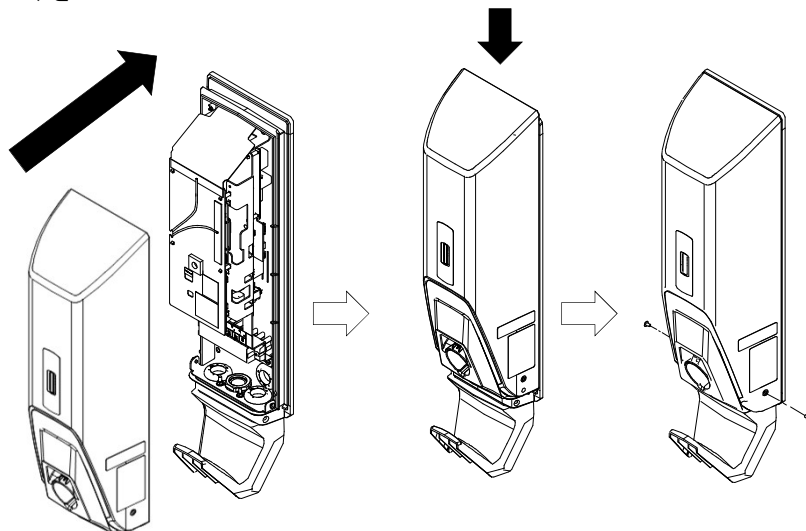
(例：グロメット2から配線した場合)

4. 起動確認

- ① カバーを元に戻す。

(適正締付トルク : 1.5~2.0 N・m)

※左右側面のカバー取付ねじをご用意いただいた
ヘキサロビュラ穴用ドライバー(サイズ : T20H)を
使用し取り付け。

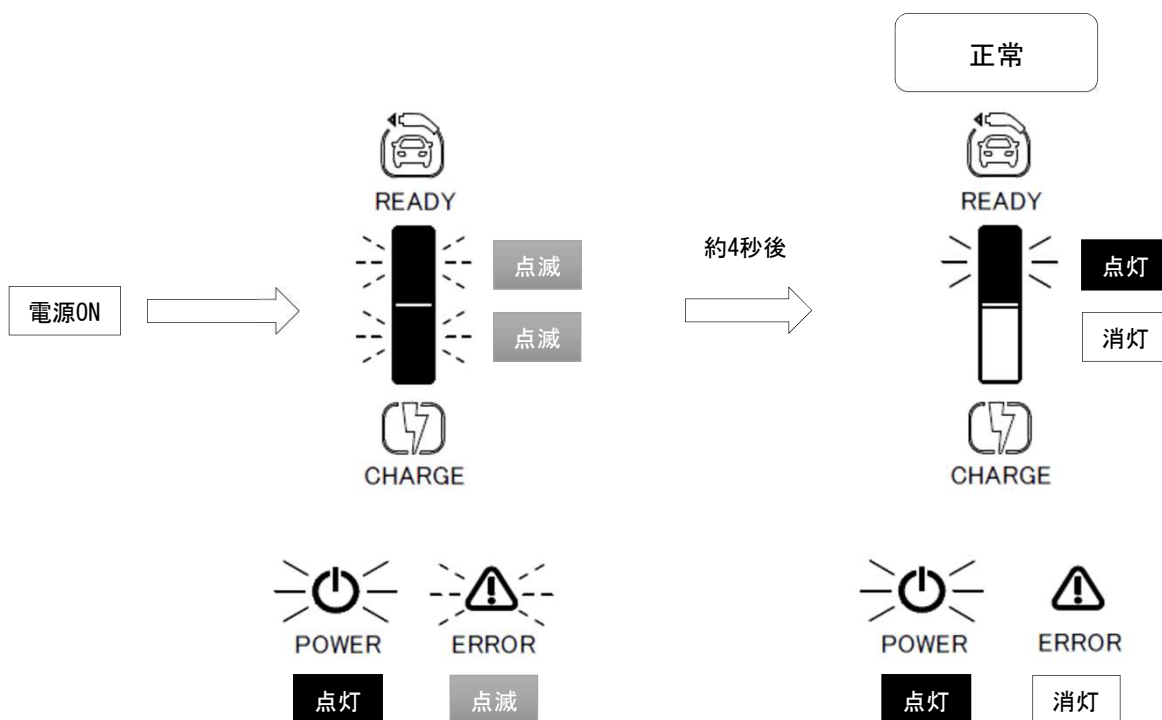


- ② 給電元の漏電ブレーカの「ON」を確認する。

- ③ インフォメーション部のランプを確認する。

通信なしモデル (アンテナなし)

(品名記号 : EVP3GJS60)

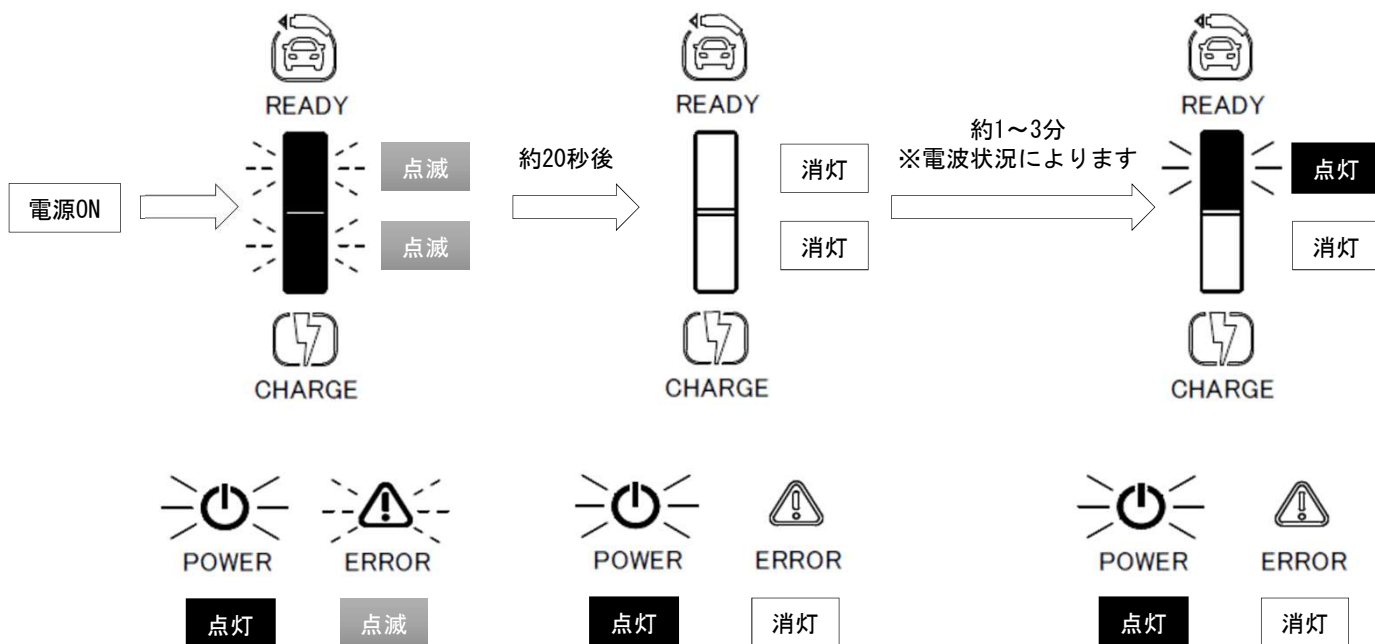


施工

通信モデル（アンテナあり）

（品名記号：EVP3GJT60）

正常



製品に電源を供給すると自動で通信を始めます。

5. 通信確認

通信モデル（アンテナあり）

4. 起動確認で通信モデルのインフォメーション部が正常に点灯しない場合にこの確認をしてください。

- ① カバーを取り外す。
- ② 通信LEDを確認する。

一定時間（60秒以上）、右図の位置の通信LEDの点滅が途切れないことを確認する。

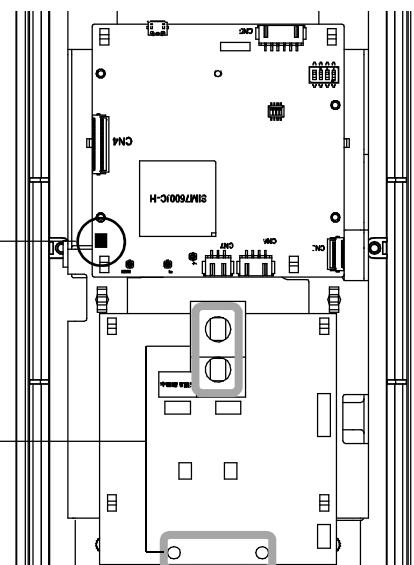
点滅が一定間隔でない（不規則に消灯・点灯を繰り返す）場合、アンテナが電波の不安定なところに設置されている可能性があります。

電波が安定したところへの移設や、電波改善が必要となります。

通信LED(緑)
正常に通信が行われていると一定間隔で点滅します。
通信に異常があると消灯あるいは点灯します。

インフォメーション部のランプ

本製品はマルチキャリアに対応しています。
マルチキャリア: 主な携帯通信キャリアの中から最も電波状況の良いものを自動で選んで通信をします。

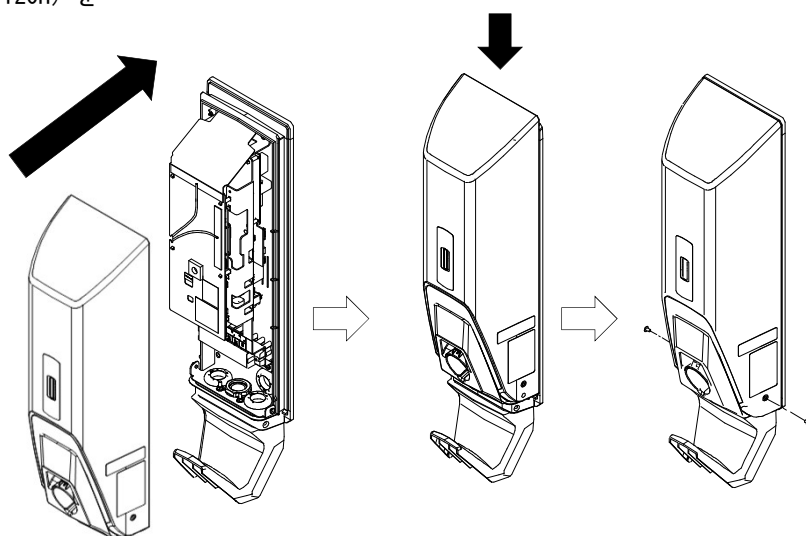


6. 仕上げ

- ① 給電元の漏電ブレーカをOFFにする。
- ② カバーを取り外す。
電源線・接地線の通線部に水の侵入が無いようパテ埋めなどで完全にふさいでください。

- ③ カバーを元に戻す。
(適正締付トルク：1.5～2.0 N・m)

※左右側面のカバー取付ねじをご用意いただいた
ヘキサロビュラ穴用ドライバー（サイズ：T20H）を
使用し取り付け。



- ④ 給電元の漏電ブレーカをONにする。

すぐご使用を開始しない場合は、給電元の漏電ブレーカをOFFにしてください。
通信モデルは、電源が供給されている間、通信を行います。

- ⑤ 付属の操作ラベルを必要に応じて適切な位置に貼付ける。

ご注意 お客様によっては、企業ロゴやQRコードなど別のラベルを貼る可能性があるため事前にご確認ください。

■利用方法（利用開始・利用終了）

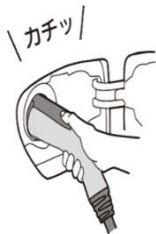
操 作

●利用開始

1. 充電コネクターを取り外す

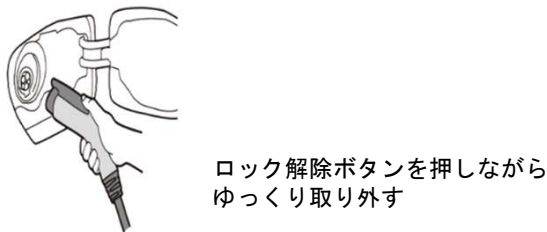


2. 車両に充電コネクターを差込む



●利用終了

1. 車両から充電コネクターを取り外す



2. 充電コネクターを戻す



ご注意

- ・充電ケーブルをきつく巻かないでください。断線の原因となります。
- ・充電コネクターは車両側の充電インレットに確実に奥まで差込んでください。
- ・車両を接続してもCHARGEランプが点灯しない場合は、「故障かな?と思ったら」（15頁）をご確認ください。
- ・充電コネクターや充電ケーブルを踏みつける、地面に落下させるなどして損傷を与えないでください。
- ・充電ケーブルは十分な余裕を持たせた状態で使用してください。
- ・充電ケーブルで足を引っ掛けないようにご注意ください。
- ・充電コネクターはロック解除ボタンを押してからゆっくり抜いてください。故障のおそれがあります。

ランプの状態

- ・READYランプ（青）の点灯を確認する



- ・CHARGEランプ（橙）の点灯を確認する



- ・満充電になると、CHARGEランプ（橙）が点滅する



※CHARGEランプの点滅は車両にコネクターが接続された状態で充電が止まっていることを表しています。満充電になっていない場合がありますので、充電量は車両の状態をご確認ください。

■故障かな？と思ったら

以下のことをご確認の上“対策・処置のしかた”をお試しください。
解決しないときは「お問い合わせ先」（20頁）までご連絡ください。

こんなときは	原因・調べるところ	対策・処置のしかた
表示ランプ全てが 消灯している	給電元の漏電ブレーカがOFFになっていませんか？	ブレーカをONIにしてください。
	タイマーや外部スイッチなどの装置で電源をOFFしていませんか？	装置の設定をご確認ください。
	停電が発生していませんか？	停電の原因を確認して対処してください。
	配線や設備にトラブルが発生している可能性があります。	施工業者までご連絡ください。
	充電器内部の部品が壊れている可能性があります。	「お問い合わせ先」(20頁)までご連絡ください。
車両を接続しても CHARGEランプが点灯しない	車両にエラーが表示されていませんか？	車両の取扱説明書をご確認ください。
	車両に充電コネクタが確実に差込まれていますか？	車両に確実に充電コネクタを差込んでください。
	車両の充電が満タンではありませんか？	車両の状態をご確認ください。
	充電器に対応していない車両を接続していませんか？ ※MODE1車両など車種によっては、充電できない場合があります。	MODE3車両かご確認ください。車両の取扱説明書や車両の購入店にてご確認ください。 充電が開始されない場合は「お問い合わせ先」(20頁)までご連絡ください。
	充電ケーブルが断線している可能性があります。	車載ケーブルなど他の充電器で充電できることをご確認ください。 ほかの充電器では問題なく充電できた場合は充電ケーブルが断線している可能性が考えられますので「お問い合わせ先」(20頁)までご連絡ください。
READYランプが消灯している	ERRORランプも消灯していますか？ 利用が制限されている可能性があります。	充電器の管理先へご確認ください。
ERRORランプが点灯している	対象外車両(改造車、規格外車両)が接続されて本製品がエラーを検出している可能性があります。	車両から充電コネクタを抜き、ERRORランプが消灯することをご確認ください。 ERRORランプが消灯しない場合は「お問い合わせ先」(20頁)までご連絡ください。
	充電器内部の部品が壊れて本製品がエラーを検出している可能性があります。	「お問い合わせ先」(20頁)までご連絡ください。
POWERランプ以外のランプが すべて点滅している	ファームウェア更新中の可能性があります。	電源を絶対にOFFしないでください。充電器が故障するおそれがあります。 故障した場合、点滅が30分以上続く場合は、「お問い合わせ先」(20頁)までご連絡ください。
充電コネクタが 車両から抜けにくい	車両側でコネクタロックされている可能性があります。	車両側のロックを解除してください。

ご注意

充電中に停電が起こった場合、充電はその時点で停止します。
通信モデルでは復電後、車両に充電コネクタが接続されていても待機状態となり、自動的に再充電開始しないことがあります。

■お手入れのしかた

汚れた場合は水に濡らしてよくしぼったやわらかいタオル・布・スポンジなどで拭いてください。
充電コネクタ端子部に異物やほこりが付着した場合は、エアスプレーなどで除去してください。
積雪時は除雪してください。

ご注意

- ・強い水圧の水をかけて清掃しないでください。破損のおそれがあります。
- ・たわし、研磨剤、アルコールやベンジンなどの可燃・不燃性溶剤等を使用して洗浄しないでください。破損のおそれがあります。
- ・ワックスやカーシャンプーを使用しないでください。劣化が進行し破損のおそれがあります。

■ 日常点検・定期点検

安全にご使用いただくため、日常点検を定期的に行うことが必要です。下記の点検を実施してください。
点検の結果、不具合をみつけたり、修理・交換が必要な場合は「お問い合わせ先」（20頁）までご連絡ください。

- 日常点検（毎回）
 - ・ 充電コネクタに割れ・欠けがないか
 - ・ 充電ケーブルに亀裂や過度なねじれがないか
 - ・ 充電コネクタに泥やほこりが付着していないか
 - ・ 表示ランプが正常に動作しているか
- 定期点検（1か月に1回）
 - ・ 破損している部分はないか
 - ・ 製品が傾いていないか
 - ・ 充電コネクタの差込みにガタつき、異常なかたさはないか
- 定期点検（1年に1回）
 - ・ 充電ケーブルを点検し、損傷やねじれが激しい場合は交換してください
- 充電コネクタ
 - ・ 充電コネクタは寿命があります。定期的に変換を行ってください。
抜き差し回数約1万回で交換が必要です。（使用条件、使用場所で異なります）

■ 充電電流上限値の変更

製品の連続使用定格電流値以下で充電時の最大許容電流値を変更することができます。

本設定に関わらず、車両の許容電流値の範囲内で充電を行います。

ご注意

- ・雨天時など避けて作業をしてください。
- ・電流設定スイッチを設定する場合は、給電元の漏電ブレーカをOFFにしてから作業してください。

警告

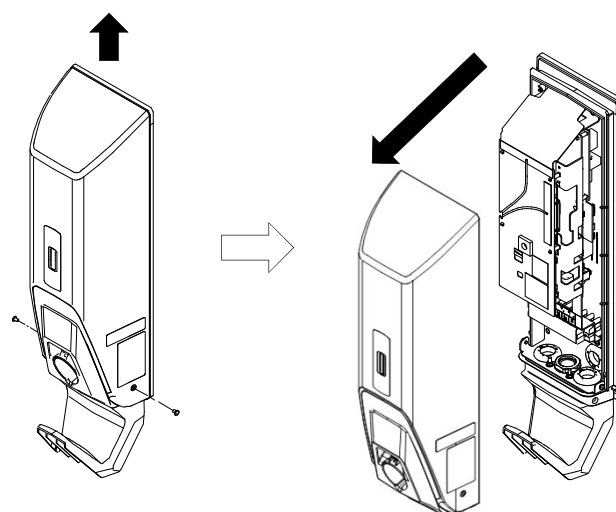


通電時の端子部には触れないでください。
感電するおそれがあります。

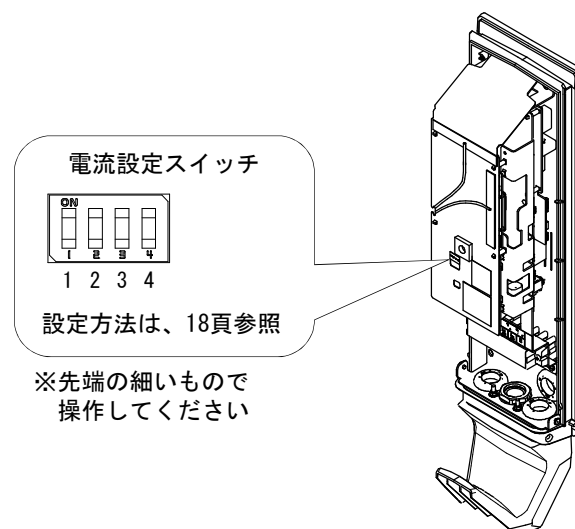
● 設定変更方法

1. 給電元の漏電ブレーカをOFFにする

2. カバー取付ねじを取り外し、 カバーを外す



3. 電流設定スイッチを設定する



4. カバーを元に戻す

5. 給電元の漏電ブレーカをONにする

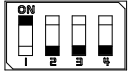

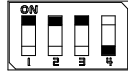
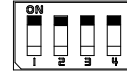
6. 起動確認

11～12頁4項③参照

再起動することで設定が有効になります。

●電流設定スイッチの設定

6.0kW出力モデル (EVP3GJT60・EVP3GJS60)

6A	16A	24A	30A(工場出荷時設定)
 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4	 1 2 3 4

ご注意

- ・上記パターン以外に設定すると、最大電流値(30A)に設定されます。

■ 非常モード 通信モデル (アンテナあり)

通信モデルは、認証運用が設定されている、あるいは利用制限がかけられている状態で、災害などで通信が切れると、充電ができなくなる場合があります。その際に、強制的に充電を可能にする非常モードスイッチを備えています。

ご注意

- ・雨天時など避けて作業をしてください。
- ・非常モードスイッチを設定する場合は、給電元の漏電ブレーカをOFFにしてから作業してください。
- ・通信が回復した場合には、必ずスイッチを元に戻してください。

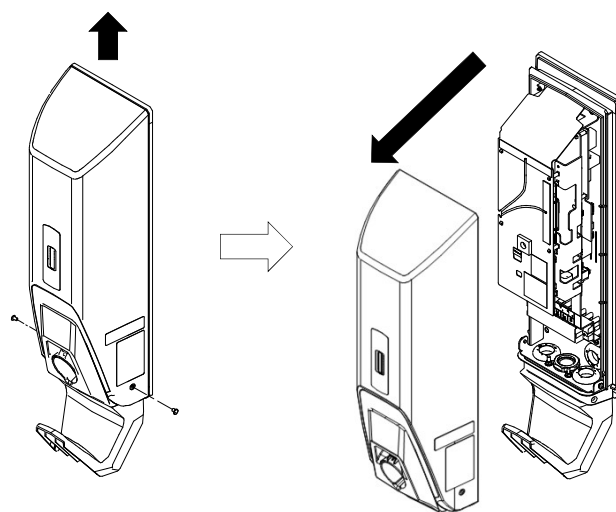
⚠ 警告



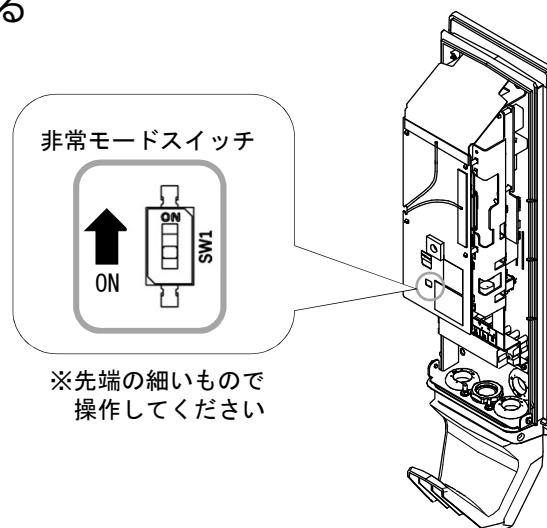
通電時の端子部には触れないでください。感電するおそれがあります。

● 切り替え方法

1. 給電元の漏電ブレーカをOFFにする
2. カバー取付ねじを取り外し、カバーを外す



3. 図の位置の非常モードスイッチをONにする



4. カバーを元に戻す
5. 給電元の漏電ブレーカをONにする
6. 起動確認

12頁4項③参照
再起動することで設定が有効になります。

通信回復後、必ず非常モードスイッチを元に戻してください。
※通信状態については、地域の情報、携帯電話の受信状況でご確認ください。また、起動動作が通信モデルの動作となることで非常モード解除の確認ができます。(12頁4項③参照)
非常モード解除をしないと、認証の運用やスケジュール充電ができません。同様の手順で非常モードスイッチに戻してください。

MODE1車両への充電

MODE1車両(初期型i-MiEV等の旧車)の充電には充電器に充電スタートボタンを備えている必要があります、これを備えていないPit-3Gシリーズはそのままでは充電できません。ただし、通信モデルは充電スタートボタンの役割を通信機能を利用して行うことが可能です。この場合、MODE1車両は充電中の電流値が制御できないため、17頁「充電電流上限値の変更」で設定した電流値を超えた電流(初期型i-MiEVでは最大16A)が流れる場合があります。

お問い合わせ先

本製品についてご不明な点は
エネルギーマネジメント事業部マーケティンググループ (EV)
ev.contactnet.mark@nito.co.jp
TEL (0561) 64-0250

〈受付時間〉9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日は休み)

弊社製品全般についてのお問い合わせは
お客様相談センター

TEL (0561) 64-0152

〈受付時間〉9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日は休み)

施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- ・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2025年7月
B202001921